



建設コンサルタンのオリエンタルコンサルタンツ(野崎秀則代表取締役社長)を中核とするACKグループ(同)は28日、設立10周年記念式典を都内で開いた。野崎社長は「真」はグループ企業6社の役員と社員を前に講話。「新しい価値を

## ACK「社会価値創造企業」目指す

創造し、社会に提供する『社会価値創造企業』を目指す。そのためにも変革と挑戦を続けていこうと呼び掛けた。野崎社長は「われわれ

指摘し、基盤となる社会インフラ事業の充実を図るとともに、教育、福祉、観光、農業など幅広い分野に事業領域を拡大していく考えを

強調。「そのためのたゆまぬ変革と挑戦こそが、社会・顧客からの信頼を獲得し、企業ブランドを不動のものにする」との持論を展開。

れは2020年のビジョンとして『社会インフラ創造企業』を標榜してきた。これからは多様化、複雑化する社会ニーズに 대응していかなければならない」と

示した。その上で「グループのミッションは、魅力ある社会づくりや、持続可能な社会づくりにつなげる価値を提供し続けていくことだ」と

あらためてグループ企業社員の技術力向上を促すとともに、グループ企業6社の協働と連携の強化を訴えた。ACKグループは、06年に参画企業11社の

完全持ち株会社として設立された。統合・再編を経て現在はオリエンタルコンサルタンツ、オリエンタルコンサルタンツグローバル、アサノ大成基礎エンジニアリング、エイテック、中央設計技術研究所、リサーチアンドソリューションの6社で構成している。10年目を迎える今期は設立時の2倍以上に当たる売上高172億円を達成する見込み。